

成功への夢に向かって愛と自信を持って進もう

鳥羽 克子

国際医療福祉大学医療経営管理学科 教授
診療情報管理士教育委員会 委員

かつて、これほどまでに社会環境・医療環境の、目まぐるしくまた複雑に大きく変る時代があったであろうか。

昨日まで良しとされていたものが今日は「否定」されたり退けられたり「古い」とされ、いま「否」とされるものも明日は良しとされるかもしれない。

そんな変化の激しい時代の中で、しかし私達には医療従事者として決して見失ってはならないものがある。それは与えられている医療的課題に向き合う時の姿勢である。私達がそれを検討する時は精神を集中させ、深思に、そして曇りのない澄んだ目で真剣に向きあうことが大切である。また、それを実行に移すべき時は隼の如くすばやく、確実に、しかし常に心からの愛を持って、真摯にその使命を果たすことではないだろうか。

診療情報管理士は、しばしば自分たちが診療記録などの「情報」や「データ」だけを対象にしていると錯覚しがちになる。しかし、実は扱っている「診療情報」や「医療データ」を通して、その向うで常に病んでいる「受療者」と向き合っているのである。

医療機関の中で扱われる「診療情報」や「医療データ数値」の一つ一つに、受療者一人一人のさまざまな歴史や、厳粛で大きな深いドラマがある。それは時に苦しみであったり、悲しみ、孤独、悩み、痛み、重荷、焦燥感、怒り、倦怠感、あきらめ、また喜びであったりする。診療情報管理士は、医療現場作業の効率や能率だけに眼をやらず、受療者の心をも感じ取りながら、時にはその視点に立って、ひたすらに日々の仕事に向かいたいものである。それは私達がそのために仕事をしているからである。

しかし、その目は自信を持って、常に未来に向けていることが大切である。その道の先にこそ、診療情報管理士として必要な英知・知恵が用意されているからである。

ナチュラリストで、しかも環境哲学・環境倫理学など自然保護思想を自らの生活の中で体現して見せたアメリカの思想家、ヘンリー・デヴィッド・ソロー（1817～1862）（彼は「インド独立の父」マハトマ・ガンジーや、米国の「黒人解放運動のリーダー」マーチン・ルーサー・キングなど後世の多くの政治家や思想家たちに、大きな影響を与えたと言われる）は、その著書『森の生活』の中で、次のように述べている。

「夢に向かって自信を持って進み、思い描いた人生を生きようと努力するなら、思わぬ成功を手にするだろう」と。

これから診療情報管理士を目指そうとしておられる通教生の皆さん、どうぞ初心の豊かな心を失わずに、私達と共に医療における公正な情報管理のマネージャーとして「成功への夢に向かって愛と自信を持って進みましょう」